

社会資本総合整備計画（水の安心・安全基盤整備） 事後評価書（中間評価書）

平成29年6月13日

中津川市における汚水処理対策の推進																																										
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）				交付対象	中津川市																																				
計画の目標	下水道整備を行い、安全、安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。																																									
計画の成果目標（定量的指標）																																										
①下水道処理人口普及率を55.3%（H22）から61.6%（H26）に増加させる。 ②処理場における長寿命化計画策定率を0.0%（H22）から37.5%（H26）に増加させる。 ③耐震診断が必要な処理場の実施率を0.0%（H22）から100%（H26）に増加させる。 ④中心市街地の緊急避難所のマンホール設置率を0.0%（H22）から100%（H26）に増加させる。 ⑤改築更新が急務である処理場の改築更新率を0.0%（H22）から100%（H26）に増加させる。																																										
定量的指標の定義及び算定式																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H22当初)</th> <th>中間目標値 (H24末)</th> <th>最終目標値 (H26末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）</td> <td>55.3%</td> <td>59.8%</td> <td>61.6%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②処理場における長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済みの処理場数（箇所）／長寿命化計画を策定すべき処理場数（箇所）</td> <td>0.0%</td> <td>12.5%</td> <td>37.5%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③耐震診断が必要な処理場の実施率 耐震診断が完了した処理場数（箇所）／耐震診断が必要な処理場数（箇所）</td> <td>0.0%</td> <td>33.3%</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④中心市街地の緊急避難所のマンホール設置率 マンホール設置済みの緊急避難所数（箇所）／中心市街地でマンホール設置が必要な緊急避難所数（箇所）</td> <td>0.0%</td> <td>20.0%</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤改築更新が急務である処理場の改築更新率 改築更新が完了した処理場数（箇所）／改築更新が急務である処理場数（箇所）</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	①下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）	55.3%	59.8%	61.6%		②処理場における長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済みの処理場数（箇所）／長寿命化計画を策定すべき処理場数（箇所）	0.0%	12.5%	37.5%		③耐震診断が必要な処理場の実施率 耐震診断が完了した処理場数（箇所）／耐震診断が必要な処理場数（箇所）	0.0%	33.3%	100%		④中心市街地の緊急避難所のマンホール設置率 マンホール設置済みの緊急避難所数（箇所）／中心市街地でマンホール設置が必要な緊急避難所数（箇所）	0.0%	20.0%	100%		⑤改築更新が急務である処理場の改築更新率 改築更新が完了した処理場数（箇所）／改築更新が急務である処理場数（箇所）	0.0%	0.0%	100%	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																																						
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)																																							
①下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）	55.3%	59.8%	61.6%																																							
②処理場における長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済みの処理場数（箇所）／長寿命化計画を策定すべき処理場数（箇所）	0.0%	12.5%	37.5%																																							
③耐震診断が必要な処理場の実施率 耐震診断が完了した処理場数（箇所）／耐震診断が必要な処理場数（箇所）	0.0%	33.3%	100%																																							
④中心市街地の緊急避難所のマンホール設置率 マンホール設置済みの緊急避難所数（箇所）／中心市街地でマンホール設置が必要な緊急避難所数（箇所）	0.0%	20.0%	100%																																							
⑤改築更新が急務である処理場の改築更新率 改築更新が完了した処理場数（箇所）／改築更新が急務である処理場数（箇所）	0.0%	0.0%	100%																																							
全体事業費	合計 (A+B+C)	4,953.0百万円 3,302.5百万円	A	4,582.0百万円 3,166.5百万円	B	— 百万円	C	371.0百万円 136.0百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)	7.5% 4.1%																																
上段：計画 下段：実績（小教第2位を四捨五入）																																										

事後評価（中間評価）	
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	事後評価（中間評価）の実施時期
事後評価（中間評価）の実施体制	・H29.6月 公表の方法 ・中津川市ホームページにて公表
・中津川市 下水道課内に実施。	

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	事業及び施行種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1. 中津川処理区																	
A1-1-1	下水道	一般	中津川市	直接	中津川市	水処理・汚泥処理	改築	中津川浄化管理センター（資源循環形成）	汚泥処理設備更新・詳細設計	中津川市						797.0 26.85	
A1-1-2	下水道	一般	中津川市	直接	中津川市	水処理・汚泥処理	改築	中津川浄化管理センター長寿命化対策（長寿命化）	長寿命化計画策定業務	中津川市						11.0 449.7	長寿命化
A1-1-3	下水道	一般	中津川市	直接	中津川市	水処理	改築	中津川浄化管理センター（地震対策）	処理場耐震診断業務	中津川市						20.0 20.4	地震
A1-1-4	下水道	一般	中津川市	直接	中津川市	汚水	新設	三五沢、斧戸地区他 面整備（未普及解消）	φ=200mm L=13.7km	中津川市						964.0 418.4	
2. 坂本処理区																	
A1-2-1	下水道	一般	中津川市	直接	中津川市	水処理	新設	坂本浄化センター（水質保全）	1系目(2,200m ³ /日)	中津川市						639.0 423.4	
A1-2-2	下水道	一般	中津川市	直接	中津川市	汚泥処理	新設	坂本浄化センター（資源循環形成）	汚泥処理設備(21kg-DS/hr)	中津川市						147.0	
A1-2-3	下水道	一般	中津川市	直接	中津川市	水処理	改築	坂本浄化センター増設（水質保全）	2系目(2,200m ³ /日)	中津川市						430.0	
A1-2-4	下水道	一般	中津川市	直接	中津川市	汚水	新設	第1幹線、坂本、乾林地区面整備(未普及解消)	φ=150-200mm L=17.8km	中津川市						1458.0 1,798.2	
3. 苗木処理区																	
A1-3-1	下水道	一般	中津川市	直接	中津川市	汚水	新設	津戸、那木地区面整備(未普及解消)	φ=150mm L=1.3km	中津川市						55.0 16.4	
4. 付知処理区																	
A1-4-1	下水道	一般	中津川市	直接	中津川市	水処理・汚泥処理	改築	付知クリーンセンター長寿命化対策(長寿命化)	長寿命化計画策定業務	中津川市						21.0	長寿命化
5. 坂下処理区																	
A1-5-1	下水道	一般	中津川市	直接	中津川市	水処理・汚泥処理	改築	坂下クリーンセンター長寿命化対策(長寿命化)	長寿命化計画策定業務	中津川市						20.0	長寿命化
6. 全域																	
A1-6-1	下水道	一般	中津川市	直接	中津川市	水処理・汚泥処理	全種	効率的な事業実施のための検討		中津川市						20.0 13.2	
											合計（下水道事業）	4,582.0 3,166.5					

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計													371.0	136.0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			
C-1-1	基幹事業である幹線と接続した枝線末端管整備を一体的に行うことにより、普及率の向上図れる。															
C-1-2	基幹事業である幹線と接続した枝線末端管整備を一体的に行うことにより、普及率の向上図れる。															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 計画に基づき中津川市浄化管理センターの改築更新を実施することが出来たが、多くの施設が改築更新時期を迎えており、更新費用を精査し、平準化する必要がある。 中津川処理区・坂本処理区は整備計画に合わせ、効果促進事業を利用し整備区域の拡張がなされ、汚水処理対策の推進を図ることができた。 効率的な事業推進のため、中津川市公共下水道事業計画に関する調査を実施し、将来計画（改築更新や汚泥処理）について検討し、有効なデータを得ることができた。 										
II 定量的指標の達成状況		指標①下水道処理人口普及率	最終目標値	61.60%	目標値と実績値に差が出た要因	効果促進事業により当初計画よりも整備率が向上した。						
			最終実績値	61.90%								
		指標②処理場における長寿命化計画策定率	最終目標値	37.50%	目標値と実績値に差が出た要因	中津川市浄化センターの長寿命化計画策定に着手したところ、対策が必要となる機器点数が想定以上に多く、これらの改築・更新工事についても完了が平成30年度となる見込みとなることが判明した。このため、本計画期間では中津川市浄化センターの長寿命化計画の策定のみ先行実施し、当初計画していた、付知クリーンセンター及び坂下浄化センターについては計画策定を先送りすることとしたことによる。						
			最終実績値	12.50%								
		指標③耐震診断が必要な処理場の実施率	最終目標値	100.00%	目標値と実績値に差が出た要因	計画策定当初は、長寿命化計画の策定と合わせて、中津川市浄化センターと付知クリーンセンター及び坂下浄化センターについて耐震診断を実施することを目標としていたが、付知クリーンセンター及び坂下浄化センターの長寿命化計画策定の延期に伴い、耐震診断も先送りとしたことによる。						
			最終実績値	33.30%								
		指標④中心市街地の緊急避難場所のマンホールトイレ設置率	最終目標値	100.00%	目標値と実績値に差が出た要因							
			最終実績値	100.00%								
		指標⑤改築更新が急務である処理所の改築更新率	最終目標値	100.00%	目標値と実績値に差が出た要因	中津川市浄化センターの長寿命化計画策定に着手したところ、対策が必要となる機器点数が想定以上に多く、これらの改築・更新工事についても完了が平成30年度となる見込みとなることが判明した。このため、本計画期間では中津川市浄化センターの長寿命化対策事業を先行実施し、当初計画していた、付知クリーンセンター及び坂下浄化センターについては事業実施を先送りすることとしたことによる。						
			最終実績値	22.20%								
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)												

3. 特記事項(今後の方針等)

- 今後は、面整備では「持続的な汚水処理システム構築に向けた都道府県構想策定マニュアル」に基づき、地形的な要因により下水道整備が困難な地区では、合併処理浄化槽による個別処理に切り替え、汚水処理人口普及率を上げていく。
- 本計画期間内に未実施となった、付知クリーンセンター及び坂下浄化センターの老朽化対策については、次期計画期間中の実施を目標とし、今後もより効率的かつ効果的な事業実施を進める。
- 中津川市では有効な汚泥処理計画を策定し、それに合わせ各処理場の長寿命化計画を策定していく。